

# 電動キックボード 取扱説明書

## ☆組み立て方☆



①箱の中から商品を取り出し折りたたんであるキックバイクを取り出します。



②ハンドル部付け根付近右側にロックレバーがありますので、ロックを下にさげながらハンドル部を半分までおこします。



③キックバイクが動かないように足で固定しハンドル部を自分に引き付けるようにおこします。  
※カチッと音が鳴ればロック完了となりご使用いただけます。



④左右のハンドルを水平になるまで押し上げ、真ん中の位置までスライドさせます。



※この際、ハンドルのロックボタンが中央の穴にしっかりとハマっていることを確認し中央のカバーを閉じて下さい。



⑤ハンドルの高さは身長に合わせて下さい。  
※高さが決まりましたらハンドル棒中心のロックボタンがしっかりとハマっていることを確認して下さい。  
※ロックボタンを押し込んでいただき高さ調節を行ってください。

⑥実際に走行する前にブレーキがきく事をご確認下さい。



※この際の注意点としてそのままロックレバーをさげようとしても隙間がなく、かたくて力がいらいますのでロックレバーをさげる前にハンドル部を奥に押しやります。  
するとロック部に隙間ができハンドルを倒す事が出来ます。

※画像の一部は他の商品を使用していますが組立て方法は同じです。

⑦ご使用が終わりましたらハンドル部付け根付近右側のロックを下にさげます。

## 電源のつけ方



ボード裏側にある赤いスイッチを押すと「ピツ」と音が鳴り電源がONになります。  
もう一度押すと、電源がOFFになります。



## 充電方法

・ゴムキャップを外して充電ケーブルを挿入して充電してください。  
・充電完了後は、ゴムキャップを必ず着けて使用してください。

■充電中のランプ  
充電中: 赤色点灯  
充電完了: 緑色点灯

## ☆故障かなと思ったら☆

### ■ハンドルがグラグラする場合



左記の部分の箇所のネジを手でしっかりと締めてください。

※ネジを締めすぎると左右のハンドルが、中央の差し込み口に入らない場合がありますので、その場合は一旦ネジを緩めて左右のハンドルを付けた後、ネジをしっかりと締めてください。

### ■左右のハンドルが中央の差し込み口に入らない場合



画像①の箇所のネジを緩めてみてください

緩めてもハンドルが入らない場合は、  
工具を使って画像②の箇所を少し広げて  
みてください。

### ■ロックがかからない場合

組み立て方法にある③を力を入れて行ってみてください。



## 注意事項

### 警告及び注意事項

- ・本製品を使用する場合は、道路交通法に基づき公道では絶対使用しないで下さい。
- ・天候や視界が悪い時は使用しないで下さい。
- ・本製品を使用して同乗、物を運ぶ行為はしないでください。
- ・階段の上り下り等で本製品を運ぶ場合は、ぶつけないように注意して運んでください。  
故障を引き起こす原因となります。
- ・使用する前にすべてのネジと留め具が正常に固定されていることを確認してください。

### 安全上の注意

- ・本製品は、一人で使用するために設計されています。
- ・本製品を使用する場合はヘルメットやプロテクター等を装着する事をお勧めします。
- ・必ず両手で正しくハンドルを握ってください。絶対に片手で走行はしないでください。
- ・広々とした平地の人のいない場所で練習して本製品に慣れてから乗車してください。
- ・道路交通法に基づき使用してください。
- ・ペダルの上に両足で立ってください。
- ・人が近づいてきたら、減速してください。
- ・水、油、氷が付着した場所など、滑りやすい路面には乗らないでください。

### 重要な注意事項

- ・ご使用前に本書をよくお読みにになり本製品の性能・機能を正しく理解し安全に使用してください。
- ・慣れないうちは、ヘルメットやプロテクター等を付けて、広々とした平地の人のいない場所で練習をしてください。
- ・使用する前にブレーキが作動するか確認してください。
- ・雨や水につかる場所での走行は故障の原因になるのでお止めください。
- ・水洗いでのお手入れはお止めください。汚れは濡れた布などで拭き取ってください。
- ・本製品の使用によって生じた事故や損害は、直接的・間接的問わず、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。

### 使用する前に

- ・広々とした平地の人のいない場所を選択してください。
- ・マニュアルに従って本製品を組み立ててください。
- ・ヘルメットやプロテクター等を着用してください。
- ・すべてのネジと留め具が正常に固定されていることを確認してください。
- ・スピードの出しすぎは危険ですのでご注意ください。
- ・急ブレーキ・急発進はバランスを崩し転倒してしまう恐れがあるのでご注意ください。